



# 11月 熊本市 感染症発生動向調査 速報



今週は◆流行性角結膜炎（はやり目）が急増しています◆感染性胃腸炎もこれから増加すると予想されます。3週にわたって、感染性胃腸炎（細菌性・ウイルス性・ロタウイルス）について特集します。

## ●感染性胃腸炎（細菌性胃腸炎）

感染性胃腸炎には、細菌によるものとウイルスによるものがありますが、夏季に多い傾向があるのは細菌性胃腸炎です。細菌性のもものでは、腸炎ビブリオ、病原性大腸菌（O-157等）、サルモネラ、カンピロバクターなどが原因となります。症状は原因となる病原体の種類、感染経路、身体に入った病原菌の量、感染者の健康状態により異なりますが、主に吐き気や下痢、嘔吐、腹痛、発熱などがみられます。

・潜伏期間…1～3日程度（病原体によりもっと長い場合もある）  
 ・感染経路…病原体が付着した手で口に触れることによる感染（接触感染）、汚染された食品を食べることによる感染（経口感染）があります。

・流行期……細菌性胃腸炎に関しては、年間を通して発生がありますが、夏場に増加するものが多いです。

◆かかったらどうすればいいの？

・細菌によるものであれば、抗生物質の服用が有効な治療法となります。  
 ・下痢や嘔吐が続くときには、脱水に気をつけます。嘔吐がおさまったら、少しずつ水分を補給し、安静に努め、回復期には消化しやすい食事をするよう心がけましょう。

◆予防法は？

・帰宅時や食事の前、トイレの後に、流水と石けんでよく手を洗いましょう。二次感染を防ぐため、患者の便や吐物の処理は、直接触れないよう使い捨て手袋やマスクを着用し、汚染された衣類や床などは、次亜塩素酸ナトリウムや熱湯、アルコール（ノロウイルスには無効）等でしっかり消毒しましょう。調理をするときは、中心部まで火が通るようによく加熱（85℃、1分以上）しましょう。

感染性胃腸炎比較表も読んで、感染予防してね。



期 間		平成30年 46週		平成30年 47週	
		11/12～11/18		11/19～11/25（最新）	
疾患名 <small>（百日咳は平成30年1月1日より全数報告へ変更になりました）</small>	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ		4	0.16	9	0.36
RSウイルス感染症		2	0.13	4	0.25
咽頭結膜熱（プール熱）		2	0.13	6	0.38
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		52	3.25	28	1.75
感染性胃腸炎		104	6.50	95	5.94
水痘（みずぼうそう）		0	0.00	3	0.19
手足口病		10	0.63	11	0.69
伝染性紅斑（りんご病）		2	0.13	0	0.00
突発性発しん		5	0.31	12	0.75
ヘルパンギーナ		0	0.00	0	0.00
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）		0	0.00	0	0.00
急性出血性結膜炎		0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎（はやり目）		12	2.40	24	4.80
細菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
マイコプラズマ肺炎		0	0.00	0	0.00
クラミジア肺炎（オウム病を除く）		0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎（ロタウイルス）		0	0.00	0	0.00